

3/29 (日) 16:00～ 入場無料

スプリング・イースター・コンサート vol.5



藤丸 麗 (ピアノ)

1997年、相愛大学音楽学部ピアノ科首席卒業。東京読売新人演奏会、関西新人演奏会出演。2000年、ポーランド・ワルシャワ・ショパンアカデミー研究科最優秀卒業。在学中より国内外でコンサート活動、オーケストラとの競演、国際コンクール優勝、入賞、多数。ポーランド・プシェミシル・アルトゥール・マラフスキー音楽院の教諭を務める。ラジオ、テレビ、雑誌、新聞等出演多数。

演奏曲目

ショパン：3つのマズルカ、ノクターン、舟歌
フランク：前奏曲とコラールとフーガ etc.

讃美歌誕生秘話 「蛍の光」

NHK朝の連続テレビ小説「マッサン」では、スコットランド由来の歌があちこちに流れていてドラマに絶妙な味をつけています。実は、そのうちの多くは讃美歌として歌い継がれているのです。

「蛍の光」もそのひとつです。スコットランド民謡と記されることが多いですが、ロバート・バーンズ(1759-1796)の「オールド・ラング・サイン」という詩に、ジョージ・トムソン(1757-1851)が曲をつけ、1799年に発表されたものです。しかし、それに先立って1755年には、フィリップ・ダッドリッジ(1702-1751)が同じメロディーに別の歌詞をつけ、讃美歌として出版していました。バーンズのバージョンは、当時のヨーロッパ各国で流行となり、日本では「螢」として明治時代の小学唱歌に加えられて以来、今日に至るまで卒業式の歌として親しまれています。一方のダッドリッジのバージョンは、讃美歌370番「めざめよ わが霊(たま)」として教会で長く歌われ続けています。

めざめよ わが霊 ころろ励み
ちからの限りに いそぎ進め
いのちの冠(かむり)は わがためにぞ
天にゆく馳場(はせば)に そなえらるる



宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076
E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。

—— インフォメーション ——

4/18(土) 14:00～ 入場無料
はっぴい・イースター in 宝塚



講演：藤薙 庸一 牧師
(白浜バプテスト基督教会牧師
NPO法人白浜レスキューネットワーク理事長)

場所：宝塚ベガ・ホール
「いのちはここに」
～白浜 三段壁より～

藤丸麗さんのミニコンサートもあります。

4/26(日) 15:00～ 入場無料
チャペルコンサート vol.37



畑 儀文
(テノール)



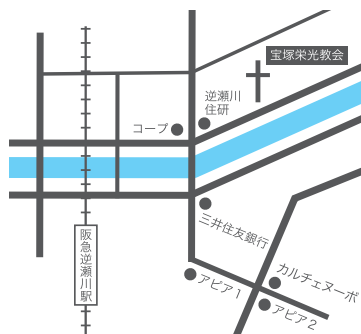
安田 哲也
(オルガン)

再びテノールとオルガンによって…

ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」 ☎:0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」 ☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



ねこやなぎも木蓮のつぼみもふくらんできた



彼の打ち傷によって

3月29日から始まる一週間は、イエス・キリストが、私たちのために十字架の苦しみをお受けになったことを深く思う受難週です。

イエス様の受けられた苦しみは、言語を絶するものでした。イエス様は、まず人々に捨てられました。イスカリオテ・ユダに裏切られ、シモン・ペテロに3度否定されました。ほかの弟子たちも皆逃げました。

またイエス様は、肉体的にもひどい苦しみを味わわれました。平手でたたかれ、むち打たれ、ついに両手両足を十字架に釘づけられました。その痛みは、とても言葉では言い表せません。

イエス様は神の子でしたが、私たちと同じ人となってこの世に来られました。ですから、痛みも感じれば悲しみも覚えたのです。十字架につけられた時の痛みは、どれほどだったのでしょうか。

しかし、イエス様の苦しみは、もっと深いものでした。イエス様は、十字架の上で「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれました。神様から捨て

られるはずのない神の子が、神様から捨てられたのです。それは、私たちの罪のためです。

私たちは、神様の前に滅びゆく汚れた罪びとです。しかし、愛なる神様は、私たちを救いたいと思われ、ひとり子イエス様を私たちのもとに送ってくださいました。イエス様は罪のないお方でしたのに、罪びとの私たちに代わって十字架についてくださいました。本当は私たちが神様から捨てられなければならないのに、私たちが捨てられなくてもよいように、捨てられるはずのないイエス様が神様から捨てられてくださったのです。

聖書にこうあります。「彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎(とが)のために碎かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。」(イザヤ書53章5節)

自分の罪を悔い改め、イエス様の十字架がこの自分のためだったと信じれば、私たちは誰でも、どんな罪でも赦され、救われます。あなたもぜひ、イエス様の十字架を信じて、罪からの救いをいただいでください。



「春ゆったりと」

枯草とばかり 思っていた
冬の色におおわれた 寒い場所と思っていた
ほんの少し 寒気がゆるんだとき
はっと気づいた

この場所に 色がついている
なんだ 春は来る準備を すすめていたのだ
それも ゆったりと ゆとりをもって

黒い土の中は 見えないから
春はまだかと いらだっていたのは こちらだけ

つくしが小声で 体をゆらしながら歌っている
小さな水色の オオイヌノフグリたちが
満開の笑顔で 唱和している

なんとやさしい 春の風景だろう

まだ時折 冷たい風が吹くので 声は小さいけど
やがて 歌声は高まって 広がっていくだろう
日だまりのように 暖かさを寄せ集めたような
この場所から 始まっていく

この春 最高の場所

主はわたしの力 わたしの盾
わたしの心は 主に依り頼みます
主の助けを得て わたしの心は 喜び躍ります
歌をささげて 感謝いたします
主は 油注がれた者の力 その砦 救い

(聖書)